

產業委員會所管

1992年度 第2回 一般會計 追加更正豫算(案)

豫 備 審 查 報 告 書

產 業 委 員 會

1992年度 一般會計

産業委員會所管 第2回 追加更正豫算案 豫備審査報告

1992年 10月 16日

産業委員會

1. 1992年度 第2回 一般會計 追加更正 豫算(案)

- 一般會計 (農漁村開發局, 農林水産局, 地域經濟局, 農村振興院)

2. 審査經過

가. 提出日字 및 提案者 : 1992年 10月 5日 忠淸北道知事

나. 回 附 日 字 : 1992年 10月 5日

다. 上 程 日 字 : 第 82 回 臨時會

- 第1次 産業委員會 ('92. 10. 15) 上程 質疑 答辯

(農漁村開發局, 農林水産局, 地域經濟局, 農村振興院)

3. 局, 院別 歲出豫算 規模

(單位：百萬圓)

所 管 別	豫 算 額		既 定		追 更 豫 算 額	
	豫 算 額	%	豫 算 額	%	(增△減)	%
合 計	69,030	100	69,901	100	△ 871	△ 1.2
農 漁 村 開 發 局	25,564	37	27,870	40	△ 2,306	△ 8.3
農 林 水 產 局	24,034	35	23,675	34	359	1.5
地 域 經 濟 局	13,997	20	12,964	18	1,033	8.0
農 村 振 興 院	5,435	8	5,392	8	43	0.8

4. 産業委員會 所管 歲出豫算 規模

(單位：百萬圓)

區 分	豫 算 額		既 定		追更豫算額	
	豫 算 額	%	豫 算 額	%	(增△減)	%
合 計	69,030	100	69,901	100	△ 871	△ 1.2
基本的經費	11,046	16.0	10,754	15.4	292	2.7
人 件 費	6,255	9.1	6,163	8.8	92	1.5
官署運營費	3,318	4.8	3,290	4.7	28	0.9
基本經常費	1,473	2.1	1,301	1.9	172	13.2
事業費	55,553	80.5	56,716	81.1	△ 1,163	△ 2.1
經常事業費	5,223	7.5	4,312	6.2	911	21.1
主要事業費	50,330	73	52,404	74.9	△ 2,074	△ 4.0
其他經費	2,431	3.5	2,431	3.5	—	—

5. 專門委員 檢計 報告 要旨

“ 別 添 ”

6. 豫算案 主要 問題點

가. 當初豫算에 內示 計上되었던 國庫 補助 事業이 大幅的 減額 內示됨으로 因한 地方財政 運營에 (計劃性 있는 事業費 投資) 큰 혼선을 招來하고 있음.

나. 追加更正豫算 編成의 根本的 要因 不充分

다. 本 豫算에 編成하여야 할 年中 基本的인 事項을 今回 追更에 計上한 事項이 許多함

라. 農村 投資費에 比해서 一般 經常的인 經費가 過多하게 計上됨.

7. 審査調整 結果

一般會計 歲出豫算 審査 調整 結果 調整內容없이 産業委員會 參席委員 全員 滿場一致로 合議를 보았음.

(參席委員 : 在籍委員 9人中 6人 參席 全員 贊成)

8. 少數意見要旨 : 없 음

9. 其他 必要한 事項 : 없 음

※ 添 附 : 局, 院別 檢討報告書

農漁村開發局所管

1992年度 第2回 追加更正豫算(案)

檢 討 報 告
(一 般 會 計)

產 業 委 員 會

專 門 委 員

目 次

一、 豫 算 概 要	1
1. 忠清北道 一般會計 歲出豫算(規模)	
2. 農林水產局 所管 一般會計 歲出豫算(規模)	
3. 豫算編成概況	
二、 事 業 概 要	5
1. 主 要 事 業	
2. 經 常 事 業	
3. 基本(一般)的 經費	
三、 檢 討 意 見	10
四、 參 考 資 料	13
1. 財 源 充 當 要 約	
2. 減 額 事 業 內 譯	
3. 行 政 裝 備 購 入 明 細	

一. 豫 算 概 要

1. 忠清北道 一般會計 歲出豫算(規模)

(單位：百萬圓)

經費別	豫算額		既定豫算額		追加更正額 (增額)	
	金額	%	金額	%	金額	%
計	283,121	100	273,502	100	9,619	3.5
基本的經費	51,032	18.0	49,577	18.1	1,455	2.9
人件費	26,118	9.2	25,567	9.3	551	2.2
官署運營費	13,392	4.7	13,191	4.8	201	1.5
基本經常費	11,522	4.1	10,819	4.0	703	6.5
事業費	171,163	60.5	165,170	60.4	5,998	3.6
經常事業費	15,868	5.6	12,780	4.7	3,088	24.1
主要事業費	155,300	54.9	152,390	55.7	2,910	1.9
其他經費	60,921	21.5	58,755	21.5	2,166	3.7

○ 忠清北道 一般會計 1992年度 第2回 追加更正豫算案의 歲出規模는 既定豫算 2,735億2百萬圓 對比 3.5%인 96億1千9百萬圓이 增加된 2,831億2千1百萬圓의 規模임.

2. 農漁村開發局 所管 一般會計 歲出豫算(規模)

(單位：百萬圓)

經費別	豫算額		既定豫算額		追加更正額 (增額)	
	金額	%	金額	%	金額	%
合計	25,564	100	27,870	100	△ 2,306	△ 8.3
基本的經費	1,939	7.6	1,881	6.8	58	3.1
人件費	1,250	4.9	1,209	4.4	41	3.4
官署運營費	489	1.9	479	1.7	10	2.1
基本經常費	200	0.8	193	0.7	7	3.6
事業費	22,250	87.0	24,614	88.3	△ 2,364	△ 9.6
經常事業費	819	3.2	639	2.3	180	28.2
主要事業費	21,431	83.8	23,975	86.0	△ 2,544	△ 10.6
其他經費	1,375	5.4	1,375	4.9	-	-

○ 忠清北道 一般會計 豫算規模 對 占有率 9%

○ '91年度 第2回 追加更正豫算規模 (32,452千圓)對比 21% 減

3. 豫算編成概況

92年度 一般會計 第2回 追加更正豫算은 當初 豫算에 計上되었던 國庫補助事業費가 確定 內示됨에 따른 增減 (增 96,600, 減 2,973,390千원) 調整을 主軸으로 하여 職制機構 新設(農政企劃係)로 因하여 增員된 人件費와 必須 官署運營費, 그리고 青果物 流通施設 支援費, 道民教育院 移轉에 따른 附帶經費, 其他 業務推進經費등이 更正財源 20,000千원과 可用財源 570,764千원등 合計 590,764千원으로 計上되어 業務(事業)推進을 部分的으로 補完하는 豫算이 編成되었습니다.

二. 事業概要

1. 主要事業

(單位：千圓)

事業名	事業量	豫算額	備考 (國庫補助)
計		△ 2,543,958	△ 2,876,790
・成長作目 示範園地 育成		△ 2,100,000	△ 2,100,000
・郡單位 綜合開發業務 推進經費		△ 4,690	△ 4,690
・傳統食品 包裝改善 事業		△ 57,500	△ 57,500
・農產物 加工產業 育成		△ 279,500	△ 279,500
・青果物 綜合流通施設		△ 462,000	△ 462,000
・青果物 流通施設		100,000	
・한밭對備 農業用水 開發		96,600	96,600
・農漁村 用水開發		△ 69,700	△ 69,700
・道民教育院 新廳舍 周邊 土木工事	옹벽 3個所, 排水路 10 個所, 아스콘 및 콘크 리트鋪裝 300m	172,595	
・道民教育院 綜合 運動場 排水施設	명암거, 排水路(1,530m)	51,000	
・道民教育院 農機械 訓練場 教官室用 什器購入	教育生 의자外 4種	2,404	
・其他 事業推進經費		6,833	

2. 經常事業

(單位：千圓)

事業名	事業量	豫算額	備考 (國庫補助)
計		179,800	
・農漁村 特産園地 弘報冊字 觀光農園 製作	500部	5,000	
・農漁村 特産園地 展示販賣行事 業務 經費		5,000	
・農漁村 所得開發 有功者 褒賞 補償金	16 名	15,000	
・農産物 流通構造改善 事業 業務推進 經費		100,000	
・農特産品 海外市場 開拓	日本(오사카)	△ 20,000	
・옴農産物 販賣 포장재 製作	農漁民後繼者聯合會	30,000	
・農特産品 展示販賣 行事用 機資材	天幕外 1種	2,200	
・道民敎育院 構内食堂 炊事道具 購入	가스 自動밥솥外 40種	40,000	
・事務推進 旅費		2,600	

3. 基本(一般)的經費

(單位：千圓)

內 容	豫 算 額	備 考 (國庫補助)
計	58,161	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 農政企劃係 新設 增員 人件費 (5級 1名, 6級 1名, 7級 2名) - 給與, 賞與金, 定額手當 - 時間外 勤務手當 - 福 利 厚 生 費 - 定 額 情 報 費 ○ 業務(事業)指導 出張費 ○ 年暇 補償費 ○ 道民教育院 移轉 賃車費 ○ 其 他 ○ 科目更正 (減) 	<ul style="list-style-type: none"> 48,811 40,856 1,516 5,089 1,350 8,400 2,480 2,000 1,470 △ 5,000 	<ul style="list-style-type: none"> 觀光農園 冊字

三. 檢 討 意 見

< 檢 討 意 見 >

豫算編成에 있어當初豫算은 每 1年間 所要되는 일체를 見積하여 1年間을 計劃, 執行하는 것이 原則으로서 年度中 收入을 豫想 總括 分析하여 歲出 財源으로 뒷받침하고 歲出에 있어서는 年間을 通算하여 基本的인 事項과 年例的인 經費를 包含, 1年間 計劃된 事業費가 蹉跌없이 正確하게 計上되어 年間 財政運營에 一貫性を 維持하도록 하여 劣弱한 忠北道의 可用財源이 有效適切하게 投資되어야 한다고 생각합니다만 92年 一般會計 第2回 追加 豫算을 檢討하여 本 結果 相當部分이 基本的인 性格으로서 當初豫算에 措置 되어야 할 事項이 計上되어 있으며,

(單位 : 千 元)

※

○ 農漁村 所得開發 有功者 褒賞	15,000
○ 農漁民 後繼者 聯合賄 支援	30,000
○ 農特產品 展示販賣行事 機資材	2,200
○ 道民教育院 移轉에 따른 經費	228,428
○ 道民教育院 學生長 名牌 外 3種	3,874

또한 國庫補助事業인 排水改善事業은 (92年 1月 27日 農林水産部 內示)補助 內示 內譯을 根基로 歲入과 歲出을 同時 計上 措置하여야 하나 第1回 追更 豫算에서 부터 今回 追更에 거쳐 計數 補完措置가 되었습니다.

(單位 : 千 元)

※

事 業 名	1 回 追 更		2 回 追 更		計	
	歲 入	歲 出	歲 入	歲 出	歲 入	歲 出
排水改善事業	853,000	856,000 (增 3,000)	3,000	0 (減 3,000)	856,000	856,000

그리고 議案(追加更正豫算)에 關한 事項입니다.

追加更正豫算은 既定豫算을 基本으로 追加 또는 調整 減되는 것인만큼 追加 減되는 要因의 算出基礎가 明確히 表現되어 書類로 審議가 可能하도록 最善을 다하는 것이 正常이라고 생각되나, 人件費, 國庫補助事業 更正 등에서 總計金額만으로 表示된 部分이 있어 오히려 豫算 審議案이 承認 確定된 豫算 書의 要約分으로 생각할 수 있는 바, 向後 當初豫算은 勿論, 追加更正豫算 編成에 있어서 格別한 關心이 必要하다고 생각합니다.

四. 參 考 資 料

1. 財源充當要約

○ 財 源 _____ 590,764千円

- ・ 更正財源 20,000千円
- ・ 可用財源 570,764 ”

○ 充當内譯 _____ 590,764千円

- ・ 主要業務 推進經費 105,000千円
- ・ 出張指導費 13,000 ”
- ・ 増員 人件費 (其他) 50,490 ”
- ・ 農漁村 開發 褒償金 15,000 ”
- ・ 農産物 流通構造施設 支援 100,000 ”
- ・ 農漁民後繼者聯合會 支援 30,000 ”
- ・ 農特産品 展示行事 資材 2,200 ”
- ・ 道民教育院 移轉經費 272,832 ”
- ・ 其 他 2,242 ”

2. 減額事業內譯

(單位 : 千圓)

細 項	事 項	財 源 別			內 譯
		計	國 費	道 費	
計		2,993,390	2,973,390	20,000	
農漁村開發	主要事業費	2,100,000	2,100,000		成長作目 示範園地 育成
		4,690	4,690		郡單位 綜合開發計劃 樹立
農產物流通 構造改善	經常事業費	20,000		20,000	農特產品 海外市場 開拓
	主要事業費	57,500	57,500		傳統食品包裝 改善事業
		279,500	279,500		農產物 加工產業 育成
		462,000	462,000		青果物 綜合流通施設
農業用水開發	主要事業費	69,700	69,700		農漁村 用水開發
	※		增 96,600		한밭對備 農業用水 開發事業

3. 行政裝備 購入明細

(單位：千圓)

細 項	事 項	事 業 概 要
(道民教育院) 庶 務 管 理	經常事業費	○ 構内食堂 炊事道具 購入 (가스 自動밥솥 外 40種 40,000)
	主要事業費	○ 農機械 訓練場 教官室用 什器購入 - 책상(3종) (100,960 × 5각) 505 - 의자(3 A) (46,820원 × 5각) 234 - 캐비닛 (52,760원 × 5대) 264 - 옷 장 (67千원 × 3대) 201 - 教育生用 의자(20千원 × 60個) 1,200

農林水產局所管

1992年度 第2回 追加更正豫算(案)

檢 討 報 告
(一 般 會 計)

產 業 委 員 會

專 門 委 員

目 次

一. 豫 算 概 要 1

1. 忠清北道 一般會計 歲出豫算(規模)
2. 農林水產局 所管 一般會計 歲出豫算(規模)
3. 豫算編成概況

二. 事 業 概 要 5

1. 主 要 事 業
2. 經 常 事 業
3. 基本(一般)的 經費

三. 檢 討 意 見 10

四. 參 考 資 料 13

1. 財 源 充 當 要 約
2. 減 額 事 業 內 譯
3. 行 政 裝 備 購 入 明 細

一. 豫 算 概 要

1. 忠清北道 一般會計 歲出豫算(規模)

(單位：百萬圓)

經費別	豫算額		既定豫算額		追加更正額 (增額)	
	金額	%	金額	%	金額	%
計	283,121	100	273,502	100	9,619	3.5
基本的經費	51,032	18.0	49,577	18.1	1,455	2.9
人件費	26,118	9.2	25,567	9.3	551	2.2
官署運營費	13,392	4.7	13,191	4.8	201	1.5
基本經常費	11,522	4.1	10,819	4.0	703	6.5
事業費	171,163	60.5	165,170	60.4	5,998	3.6
經常事業費	15,868	5.6	12,780	4.7	3,088	24.1
主要事業費	155,300	54.9	152,390	55.7	2,910	1.9
其他經費	60,921	21.5	58,755	21.5	2,166	3.7

○ 忠清北道 一般會計 1992年度 第2回 追加更正豫算案의 歲出規模는 既定豫算 2,735億2百萬圓 對比 3.5%인 96億1千9百萬圓이 增加된 2,831億2千1百萬圓의 規模임.

2. 農林水產局 所管 一般會計 歲出豫算(規模)

(單位：百萬圓)

經費別	豫算額		既定豫算額		追加更正額 (增額)	
	金額	%	金額	%	金額	%
合計	24,034	100	23,675	100	359	1.5
基本的經費	5,116	21.3	5,052	21.3	64	1.3
人件費	3,367	14.0	3,353	14.2	14	0.4
官署運營費	1,502	6.3	1,495	6.3	7	0.5
基本經常費	247	1.0	204	0.8	43	21.1
事業費	18,918	78.7	18,623	78.7	295	1.6
經常事業費	1,078	4.5	923	3.9	155	16.8
主要事業費	17,840	74.2	17,700	74.8	140	0.8
其他經費	-	-	-	-	-	-

○ 忠清北道 一般會計 對比 占有率 8.4%

○ 1991年度 第2回 追加更正豫算規模 (20,580千圓)對比 17% 增

3. 豫算編成概況

農林水産局 所管 一般會計 第2回 追加更正豫算은 國庫補助事業의 確定 內示에 따른 既定豫算의 加減 調整을 비롯하여 各種 行政裝備와 試驗用 機資材 購入, 그리고 主要業務에 對한 推進經費, 人件費와 아울러 主要 事業으로는 田轉換 示範事業, 粗飼料圃地 造成, 家畜衛生試驗所 研究舍 新築 不足分, 丹陽地區 雨雹被害에 따른 特殊 營農費 支援등으로 編成 되어 있습니다.

二. 事業概要

1. 主要事業

(單位：千圓)

事業名	事業量	豫算額	備考 (國庫補助)
計		139,883	75,523
· 雨雹被害農作物復舊	農藥貸 및 代播貸 (1,360ha)	128,880	128,880
· 석회질 肥料 供給		△ 9,028	△ 9,028
· 규산질 肥料 供給		9,040	9,040
· 田轉換 示範事業		20,000	
· 原種生産		△ 504	△ 504
· 粗飼料 生産 機械化 園地 造成	7 個 所	14,000	
· 가축사양 調査料 購入	10,000 kg	3,000	
· 實驗動物舍 新築 (不足分)	30坪	18,114	
· 뽕밭 造成	1,300千週 → 910千週	△ 53,235	△ 40,950 (77%)
· 애누에 共同蠶室	5棟 → 2棟	△ 6,750	△ 6,750
· 自動 수건기	37臺 → 32臺	△ 1,350	△ 1,350
· 動力 예취기	173臺 → 247臺	7,770	7,770

(單位：千圓)

事業名	事業量	豫算額	備考 (國庫補助)
· 蠶室 建築	280棟 → 289棟	2,160	
· 改良蠶具	870組 → 850組	△ 480	
· 動力 絹綿 採取機	60臺 → 28臺	△ 816	
· 蠶室 熱風機	190臺 → 159臺	△ 1,023	
· 組織 培養室 新築		△ 3,000	△ 3,000
· 低溫 輸送車輛		△ 4,800	△ 4,800
· 雨雹被害 尤甚地域 施設菜蔬 栽培圃地 造成	47棟	21,150	
· 原蠶種 生産		△ 9,000	△ 4,500 (50%)
· 苗木掘取 人夫賃	밤나무外 5種 (400人)	5,040	
· 育林事業 造林地 秋肥 肥料貸		715	715

2. 經常事業

(單位：千圓)

事業名	事業量	豫算額	備考 (國庫補助)
計		155,300	
· 農家所得增大事業 推進經費		50,000	
· 營農施策事業 推進 經費		5,000	
· 農畜產物 需給 安定 事業 推進經費		50,000	
· 워크스테이션 購入	4 臺	11,200	
· 粗飼料 機械化團地 思料作物 파종 연사회	教材, 食貨, 記念品	3,900	
· 全國 家畜疾病 豫察 協議會 開催	1 回	2,000	
· 家畜衛生試驗所 南部 支所 試驗用 備品購入	低溫 인큐베이터(1臺)	200	
· 家畜衛生試驗所 南部 支所 物品購入	小形승합차, 複寫機	17,000	
· 回轉培養機 購入	1 臺	500	
· 잠병소독기 購入	1 臺	2,000	
· 酸素供給機 (오존 發生機) 購入	2 臺	2,000	
· 가두리 養殖場 管理船 선외기	1 臺	2,000	
· 林業試驗場 소형화물 交替	1 臺	9,500	

3. 基本經常(一般)的經費

(單位：千円)

內 容	豫 算 額	備 考 (國庫補助)
計	64,000	
・公務員年暇補償金	1,737	
・人 件 費	17,127	
・出張指導費	37,000	
・其他一般事務費	8,136	

三. 檢 討 意 見

< 檢 討 意 見 >

農林水産局 所管 一般會計 第2回 追加更正豫算을 檢討한 結果, 追加更正豫算은 當初 豫算確定 以後 예기치 않았던 어떠한 與件變動의 發生에 依하여 이미 成立된 豫算에 追加나 變更을 加하는 것으로서 追加更正豫算의 編成 回數는 不得已한 境遇의 事由發生 以外는 可及的 最小化하는 것이 바람직 하다고 생각되며 또한 年間 財政의 基本的 計劃인 當初 豫算의 意義가 있다고 봅니다.

그러므로 當初 豫算編成의 重要性이 새삼 強調되고 있습니다.

그러나 近間 追加更正豫算을 보면 當然히 當初 豫算에 總 網羅 計上 確保되어야 할 部門이 許多하게 發見되고 있어 豫算運營에 混雜을 招來하고 있습니다.

(單位 : 千원)

※

○ 行政裝備 및 試驗機器 購入	45,296
○ 電 機 料 金	340
○ 粗飼料 試料作物 演示會 經費	3,900
○ 公務員 功勞研修 人件費 및 附隨經費	17,127
○ 現況板 製作	500
○ 其他 一般 通常事務費	2,810

또한 行政裝備가 (車輛) 老朽되어 交替 購入할 時는 完全 廢品對象이 아닌
 以上 當然히 豫想賣却金額을 歲入措置하여야 할 것이며, 定員 調整에 따른
 豫算增減措置, 科目更正에 對한 正確한 認識, 豫算額에 對한 算出基礎의
 正確, 그리고 補助金 事業인 경우 歲入歲出 計上金額의 正確 等은 반드시
 是正 履行되어야 할 것으로 생각합니다.

(單位 : 千圓)

事業名	歲入	比較(增減)	歲出算出基礎
育林事業 肥料貸	751	715	751

四. 參 考 資 料

1. 財源充當要約

○ 財 源 _____ 300,423千원

- 更正財源 21,904千원
- 可用財源 278,519 "

○ 充當內譯 _____ 300,423千원

- 主要業務推進經費 107,000千원
- 出張指導費 37,000 "
- 行政 및 試驗裝備 購入 45,296 "
(事業用車輛 및 워크스테이션 等)
- 田轉換示範事業 20,000 "
- 粗飼料生産機械化圃地造成 14,000 "
- 人件費 및 附隨經費 17,127 "
- 試驗動物舍新築不足分 18,114 "
- 蠶室建築 2,160 "
- 兩雹被害營農費支援 21,150 "
- 其他 (事務費) 18,576 "

2. 減額事業內譯

(單位：千圓)

細 項	事 項	財 源 別			內 譯
		計	國 費	道 費	
計		92,786	70,882	21,904	
農 產 管 理	主要事業費	9,028	9,028		석회질 비료 供給
農產物原種場 運 營	主要事業費	504	504		原種生産
家畜衛生試驗所 南部支所	經常事業費	1,800		1,800	試驗用 備品 (토끼 게이지) 購入
蠶 業 振 興	主要事業費	53,235	40,950	12,285	뽕밭 造成
		6,750	6,750		애누애 共同蠶室
		1,350	1,350		自動수건기
		480		480	개량잠구
		816		816	動力絹綿 채취기
		1,023		1,023	蠶室 熱風機
家畜衛生試驗所 堤川支所	經常事業費	1,000		1,000	回轉培養機 購入
園藝 特作物 管 理	主要事業費	3,000	3,000		組織培養室 新築
蠶種場 運營	主要事業費	9,000	4,500	4,500	原蠶種 生産

3. 行政裝備購入明細

(單位：千圓)

細 項	事 項	事 業 概 要
	計	45,296
農 產 管 理	經常事業費	· 워크스테이션 (2,400 × 1) 2,400
畜 產 行 政	經常事業費	· " (4,000 × 1) 4,000
家畜衛生試驗所 北部支所	官署運營費	· 事務用品 購入 - 陳列場 (300千圓 × 2個) 600 - 책상 (3種) (100,960圓 × 2각) 202 - 의자 (3 A) (46,820圓 × 2각) 94
家畜衛生試驗所 南部支所	經常事業費	· 試驗用 備品購入 - 토끼게이지 (1,800千圓 × 1臺) (科目更正 減) Δ 1,800 - 低溫 인큐베이터 (2,000千圓 × 1臺) (科目更正 增 追加 200千圓) 2,000 · 物品購入 - 小形승합(交替) (13,000千圓 × 1臺) 13,000 - 複寫機(交替) (4,000千圓 × 1臺) 4,000

(單 位 : 千 元)

세 항	사 항	사 업 개 요
家畜衛生試驗所 堤川支所	經常事業費	· 回轉培養機(1臺) 購入 500 - 科目更正(增) 1,000千원, 추가 500千원 1,500 - 水質檢査裝備 科目更正(減) △ 1,000
蠶種場 運營	經常事業費	· 잠병소독기 購入(2,000千원 × 1臺) 2,000
內水面 開發 試驗 場	經常事業費	· 산소공급기 (오존發生機) 購入 (1,000千원 × 2臺) 2,000 · 가두리養殖場 管理船 선외기 (15HP) (2,000千원 × 1臺) 2,000
營 林 管 理	經常事業費	· 行政裝備 購入 - 워크스테이션 (2,400千원 × 2臺) 4,800
林業試驗場 運 營	經常事業費	· 小形貨物 交替 (9,500千원 × 1臺) 9,500

地域經濟局所管

1992年度 第2回 追加更正豫算(案)

檢 討 報 告
(一 般 會 計)

產 業 委 員 會

專 門 委 員

目 次

一、 豫 算 概 要	1
1. 忠清北道 一般會計 歲出豫算(規模)	
2. 地域經濟局 所管 一般會計 歲出豫算(規模)	
3. 豫算編成概況	
二、 事 業 概 要	5
1. 主 要 事 業	
2. 經 常 事 業	
3. 基本(一般)的 經費	
三、 檢 討 意 見	10
四、 參 考 資 料	13
1. 行政裝備購入明細	

一. 豫 算 概 要

1. 忠清北道 一般會計 歲出豫算(規模)

(單位：百萬圓)

經費別	豫算額		既定豫算額		追加更正額 (增額)	
	金額	%	金額	%	金額	%
計	283,121	100	273,502	100	9,619	3.5
基本的經費	51,032	18.0	49,577	18.1	1,455	2.9
人件費	26,118	9.2	25,567	9.3	551	2.2
官署運營費	13,392	4.7	13,191	4.8	201	1.5
基本經常費	11,522	4.1	10,819	4.0	703	6.5
事業費	171,163	60.5	165,170	60.4	5,998	3.6
經常事業費	15,868	5.6	12,780	4.7	3,088	24.1
主要事業費	155,300	54.9	152,390	55.7	2,910	1.9
其他經費	60,921	21.5	58,755	21.5	2,166	3.7

○ 忠清北道 一般會計 1992年度 第2回 追加更正豫算案의 歲出規模는 既定豫算 2,735億2百萬圓 對比 3.5%인 96億1千9百萬圓이 增加된 2,831億2千1百萬圓의 規模임.

2. 地域經濟局 所管 一般會計 歲出豫算(規模)

(單位：百萬圓)

經費別	豫算額		既定豫算額		追加更正額 (增額)	
	金額	%	金額	%	金額	%
合計	13,997	100	12,964	100	1,033	8.0
基本的經費	2,536	18.1	2,400	18.5	136	5.7
人件費	1,155	8.2	1,118	8.6	37	3.3
官署運營費	611	4.4	604	4.7	7	1.2
基本經常費	770	5.5	678	5.2	92	13.6
事業費	10,405	74.3	9,058	73.3	897	9.4
經常事業費	2,024	14.4	1,549	12.0	475	30.7
主要事業費	8,381	59.9	7,959	61.3	422	5.3
其他經費	1,056	7.6	1,056	8.2	-	-

○ 忠清北道 一般會計 占有比率 4.9%

○ '91年度 第2回 追加更正豫算規模 對比 2.5% 減

3. 豫算編成概況

地域經濟局 所管 '92年度 一般會計 第2回 追加更正豫算은 國庫補助 事業
인 鎭山地域 開發事業 20,950千원을 減額 調整하고 法規 違反車輛 課徵金
收入에 따른 (400,000千원 - 120,000 交付金) 280,000千원 積立, 大田
EXPO 對備 鐵道 沿邊 整備事業費 (79,000千원 地方交付稅 配定) 不足額
205,000千원, 其他 (284,692千원) 地方公務員 增員 人件費, 事務費, 中小
企業 育成資金 2次 補填 業務推進費等으로 合計 769,629千원의 可用 財源
이 今回 追加更正豫算의 財源으로 編成이 되었습니다.

二. 事業概要

1. 主要事業

(單位：千圓)

事業名	事業量	豫算額	備考 (國庫補助)
計		421,533	△ 20,950
· 中小企業 育成資金 金利 2次 補填		55,000	
< 運轉免許 試驗場 >			
· 駐車場 擴張施設	성토, 콘크리트포장, 흙 다지기	66,132	
· 駐車場施設 附帶費		4,083	
· 機能試驗場 샤워場	1 식	1,170	
· 機能試驗場 注油機 지붕施設	1 식	973	
· 忠州免許試驗場 焼却 場 및 汚物収去 하차장 施設	1 식	1,492	
· 忠州免許試驗場 簡易 注油機 設置	79m	19,733	
· 忠州免許試驗場 방호벽 設置		7,900	
· 鑛山地域 開發	進入路 鋪裝 1.5km	△ 20,950	△ 20,950
· 엑스포對備 鐵道鉛邊 整備	1,101 件	284,000	
· 其他 事業推進經費		2,000	

2. 經常事業

(單位：千圓)

事業名	事業量	豫算額	備考 (國庫補助)
計		474,420	
・地域經濟 動向報告書 油印	1,440部	1,520	
・消費者 保護事例集 發刊	500部	4,000	
・物價安定對策 業務 推進經費		30,000	
・清州 테크노빌 造成 業務推進經費		5,000	
・優秀廣告物 展示會 作品賞 施賞 補償金	4個 部門	800	
・中小企業 隘路타계 委員會 委員 會議參席 補償	120人	1,200	
・地域經濟動向 報告會 參席者 補償	40人	800	
・物價對策 會議 및 懇談會 參加補償	540인	5,400	
・'92 忠清北道 貯蓄王 褒賞		3,500	

(單位：千圓)

事業名	事業量	豫算額	備考 (國庫補助)
・不良商品 比較展示 運營 (大韓 主婦클럽)		5,000	
・中小企業 育成業務 推進經費		60,000	
・'93 엑스포 忠北館 設置 推進 懇談會	15人 × 5回	1,500	
・'93 엑스포 自援奉仕 者 管理業務 推進經費	85人 × 2回	3,500	
・交通事故 줄이기運動 弘報스티카 製作	150千枚	9,800	
・交通安全對策 業務 推進經費		60,000	
・워크스테이션 購入	1 臺	2,400	
・'92 法規違反車輛 果徵金 超過徵收 積立金		280,000	

3. 基本(一般)的經費

(單位：千圓)

內 容	豫 算 額	備 考 (國庫補助)
計	136,353	
○ 增員(工業課 2, 商政課 2)에 따른 人件費와 必須 官署運營費	47,109	
○ 出張指導 經費	22,500	
○ 工業 誘置事務所 職員 舍宅 賃車料	36,000	
○ 運轉免許 管理	18,344	
○ 其他 一般事務費	12,400	

三. 檢 討 意 見

< 檢 討 意 見 >

地域經濟局 所管 92年度 一般會計 第2回 追加更正豫算을 檢討한 結果, 當初 豫算確定 以後 豫想못하였던 어떠한 狀況變動에 따라 不得이한 경우 當初 豫算에 追加 또는 減 調整을 하는 것이 追加更正豫算의 一般的인 概念이라면 當初 豫算編成時는 前年度 當初豫算과 追加更正豫算 編成時마다 調整되었던 모든 資料를 最大限 確保 應用함으로써 基本的인 事項과 定期的이고 年例的인 事項은 以後 追加更正豫算의 編成要因이 最小化되리라고 確信하게 됩니다. 그러므로 追加更正豫算의 編成 回數가 減少되고 當初豫算이 年中 本豫算이라는 意義를 갖게 되는 것인데 今回 追更에도 相當數 變함없이 例年과 같이 답습計上된 例가 있습니다.

(單位 : 千 원)

※

○ 地域經濟 動向 報告會 參席補償	800
○ 物價對策會議 參加補償	5,400
○ 貯蓄王 褒賞	3,500
○ 官舍 賃借保證金	36,000
○ 弘報스티카	9,800
○ 運轉免許 試驗管理費	119,827

그리고 施行 自治團體에서 活用하는 弘報物(1,000千圓)은 該當 市郡에 製作 配付보다는 必要하다면 財政支援方法도 研究對象이 된다고 생각합니다.

또한 法規違反車輛 果徵金 積立은 交通安全對策의 深刻性으로 볼때 積立으로 財源을 死藏하기 보다는 有效適切하게 計劃을 樹立하여 活用함이 妥當하다고 생각합니다.

그리고 議案(追加更正豫算案) 作成에 있어 좀더 明確한 內容이 明記되어 議員 豫備審査에 支障이 없도록 留意하여야 되겠습니다.

四. 參 考 資 料

1. 行政裝備 購入明細

(地域經濟局)

(單位 : 千圓)

세 항	사 항	사 업 개 요
交通企劃管理	經常事業費	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 워크스테이션 購入 (1臺) 2,400

農村振興院所管

1992年度 第2回 追加更正豫算(案)

檢 討 報 告
(一 般 會 計)

產 業 委 員 會

專 門 委 員

目 次

一、 豫 算 概 要	1
1. 忠清北道 一般會計 歲出豫算(規模)	
2. 農村振興院 所管 一般會計 歲出豫算(規模)	
3. 豫算編成概況	
二、 事 業 概 要	5
1. 主 要 事 業	
2. 經 常 事 業	
3. 基本(一般)的 經費	
三、 檢 討 意 見	9
四、 參 考 資 料	11
1. 減 額 事 業 內 譯	
2. 行 政 裝 備 購 入 明 細	

一. 豫 算 概 要

1. 忠清北道 一般會計 歲出豫算(規模)

(單位：百萬圓)

經費別	豫算額		既定豫算額		追加更正額 (增額)	
	金額	%	金額	%	金額	%
計	283,121	100	273,502	100	9,619	3.5
基本的經費	51,032	18.0	49,577	18.1	1,455	2.9
人件費	26,118	9.2	25,567	9.3	551	2.2
官署運營費	13,392	4.7	13,191	4.8	201	1.5
基本經常費	11,522	4.1	10,819	4.0	703	6.5
事業費	171,163	60.5	165,170	60.4	5,998	3.6
經常事業費	15,868	5.6	12,780	4.7	3,088	24.1
主要事業費	155,300	54.9	152,390	55.7	2,910	1.9
其他經費	60,921	21.5	58,755	21.5	2,166	3.7

○ 忠清北道 一般會計 1992年度 第2回 追加更正豫算案의 歲出規模는 既定豫算 2,735億2百萬圓 對比 3.5%인 96億1千9百萬圓이 增加된 2,831億2千1百萬圓의 規模임.

2. 農村振興院所管一般會計歲出豫算(規模)

(單位：百萬圓)

經費別	豫算額		既定豫算額		追加更正額 (增額)	
	金額	%	金額	%	金額	%
合計	5,435	100	5,392	100	43	0.8
基本的經費	1,455	26.8	1,421	26.3	34	2.4
人件費	483	8.9	483	8.9	-	-
官署運營費	716	13.2	712	13.2	4	0.6
基本經常費	256	4.7	226	4.2	30	13.3
事業費	3,980	73.2	3,971	73.7	9	0.2
經常事業費	1,302	23.9	1,201	22.3	101	8.4
主要事業費	2,678	49.3	2,770	51.4	△ 92	△ 3.3
其他經費	-	-	-	-	-	-

○ 忠清北道一般會計豫算對占有率 1.9%

○ '91年度第2回追加更正豫算規模(5,607千圓)對比 3.1%減

3. 豫算編成概況

農村振興院 一般會計 第2回 追加更正豫算은 國庫補助金 減額調整에 따른
負擔金 (48,568千원) 과 可用財源에서 77,169千원을 配定받아 都合
138,628千원으로 機資材 購入과 外資通關料 等과 其他 事務 推進經費 및
一般事務費를 確保하는 豫算으로 編成되었습니다.

二. 事業概要

1. 主要事業

(單位：千圓)

事業名	事業量	豫算額	備考 (國庫補助)
<p>計</p> <p>· 沃川 포도試驗場 (溫室 및 하우스 試驗栽培)</p> <p>· 새 所得作目 示範 事業 (땅두름 연화 栽培)</p>	<p>5個所</p>	<p>△ 91,820</p> <p>△ 96,320</p> <p>4,500</p>	<p>△ 48,568</p> <p>△ 48,568</p>

2. 經常事業

(單位：千圓)

事業名	事業量	豫算額	備考 (國庫補助)
計		101,205	
· 廳舍 보일러 및 유류 탱크 交替	2 臺	46,000	
· 포도試驗場 農事用 電氣料金	1,008kw	82	
· 試驗器機 外資 通關料		34,308	
· 포도試驗場 管理舍 建立敷地 農地轉用 負擔金		1,368	
· 農機械 使用 維持費	8 臺	387	
· 하우스暖房		2,280	
· 난로購入	2 臺	180	
· 비닐하우스用 溫風機 購入	7 臺	14,000	
· 農民 相談所長 研鑽 懇談會 推進經費		2,000	

3. 基本(一般)的經費

(單位：千圓)

內 容	豫 算 額	備 考 (國庫補助)
計	33,532	
<ul style="list-style-type: none"> ◦ 出張 指導費 ◦ 農村指導 懸案事業 推進 ◦ 其他 (人件費, 事務費, 什器) 	<ul style="list-style-type: none"> 16,000 7,000 10,532 	

三. 檢 討 意 見

〈 以 前 見 解 〉

1992年度 一般會計 第2回 追加更正豫算을 檢討한 結果 本 追加豫算은 當初豫算, 즉 本豫算에 確保 計上하여 年中 運營 執行되어야 하며, 今回 追更은 既 施行分을 檢討 補完하는 마무리단계의 時點이라고 생각되는 바, 時期性이 考慮되지 않고 無分別하게 當初 豫算과 1回 追加豫算에서 確保 치 못한 것은 다음 追更에서 確保하면 된다는 듯한 인상을 느낄 수 있으며,

(單位 : 千원)

※

○ 主要 業務計劃 油印	3,000千원
○ 廳舍 보일러施設	46,000 "
○ 비닐하우스 溫風機 購入	14,000 "
○ 機能競進大會 施賞	1,500 "
○ 생력사례집 發刊	2,460 "
○ 새 所得作目 示範事業	4,500 "

포도試驗場과 關聯되는 事項들은 91年度 追加更正豫算과 今年 當初豫算에 이르기까지 數次에 걸쳐 計上 要求가 되는 바, 今年 10월에 起工을 함으로써 時期的으로 보아 93년에 計上 執行하여야 될 事項이 아닌지 考慮對象이 된다고 보며, 반드시 今年에 執行事項이라면 當然히 綜合計劃에 의하여 92年度 當初豫算에 計上함이 妥當하다고 봅니다.

좀더 基本的이고 年例的인 事項과 偶發的인 事項을 區分하여 當初豫算과 追加更正豫算 編成에 混動이 없었으면 합니다.

四. 參 考 資 料

1. 減額事業内譯

(單位：千圓)

細 項	事 項	財 源 別			内 譯
		計	國 費	道 費	
計		97,136	48,568	48,568	
食糧作物 試 驗	主要事業費	97,136	48,568	48,568	沃川 포도試驗場 - 溫室 및 하우스 試驗 栽培施設

2. 行政裝備 購入明細

(單位 : 千圓)

세 항	사 항	사 업 개 요
	計	60,600
庶務管理	經常事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○ 廳舍 보일러 - 交替 (1.5T/H) 1臺 40,000 - 油류탱크 交替 (7.6千ℓ) 1臺 6,000
食糧作物試驗	官署運營費	○ 난로購入 (200千圓 × 3臺) 600
經濟作物試驗	經常事業費	○ 비닐하우스用 溫風機 購入 14,000 (2,000千圓 × 7臺)